

第9回

女ひとと男ひとの一行詩

男女共同参画社会への認識を深めてもらおうと、身の回りで感じる「男女平等への想い」や「男女差別」などを詠んだ一行詩を募集したところ、全国から2,902点の作品が寄せられました。

数々の力作の中から入賞作品が決まりましたので、ご紹介します。(敬称略)

最優秀賞 家庭と社会 支える男女の ヤジロベー。 石川県金沢市 西森 茂夫

(選評)

何事もバランスが大切。家庭と社会、どちらが重いのでしょうか。男女のあり方をヤジロベーにたとえている視点が素晴らしい。

優秀賞

ホッとする 男子トイレに おむつ台。

茨城県つくば市 小関 理恵

手伝いじゃないよ 自分の人生だよ 暮らしも育児も。

北海道江別市 小杉 佳緒里

入選

娘は大胆にして天真爛漫、息子は繊細にして気配り上手、どちらも光る個性です。

兵庫県明石市 堂本 まり

食後には 妻のうしろで 皿をふく。

愛媛県今治市 長井 清孝

青空が見えるふたりでガラス拭き。

岐阜県岐阜市 後藤 順

ダメ主婦が 立派な主夫を 育てあげ。

北海道帯広市 岩見 節子

パパの背中は大きくて 保育所帰りは眠くなる。

広島県広島市 中山 邦夫

産休後 職場復帰を あたたかく。

東京都西東京市 大竹 真由美

さり気ない優しい言葉で頑張れる。

東京都新宿区 田中 真紀

特別賞

助けあい、支えあい、協力しあって生きていこう。

小野田中学校 江本 悠貴

ありがとう、その言葉で世界が変わる。

栃木県宇都宮市(瑞穂野中学校) 森田 佳明

男女共同参画講演会



■とき 6月16日(土) 13:30～15:00

■ところ 文化会館 大ホール (入場無料)

■講師 相原次男(山口県立大学大学院国際文化科学研究科長兼教授)

■演題 「支え合う あなたがきらり わたしがきらり」

■問い合わせ先 市民活動推進課 (☎ 82-1134)

▶来場者には、第9回「女と男の一行詩」の冊子を配布いたします。